

2026 年 2 月 17 日 第 1 版

研究協力のお願

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学病院 総合診療科

記

研究の名称	日本の単機関大学病院における市中発症 MRSA 菌血症の発生頻度とリスク因子の検討
対象	2016 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの期間に入院された黄色ブドウ球菌菌血症の患者さんが対象です。本学では、300 例を予定しています。
研究期間	研究実施許可日 ~ 2030 年 12 月 31 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>利用目的：本研究は、血液培養検査で「黄色ブドウ球菌（Staphylococcus aureus）」による菌血症（血液の感染症）と診断された患者さんの診療情報を研究に利用します。特に、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）による菌血症と、メチシリン感受性黄色ブドウ球菌（MSSA）による菌血症の違いに注目し、年齢や過去の医療機関の利用状況、抗菌薬の使用歴、体内に留置された医療機器の有無、免疫抑制状態などとの関連を調べます。これにより、MRSA 菌血症のリスク因子を明らかにし、将来的により適切な初期治療や診療方針の改善につなげることを目的としています。</p> <p>利用方法：患者さんの診療録に記載された情報（年齢、既往歴、検査結果、治療内容、転帰など）を抽出し、統計解析を行います。抽出した情報は、氏名や住所、カルテ番号などの個人を直接特定できる情報を削除し、</p>

	<p>研究用の番号を付けたうえで取り扱います。研究で得られた結果は、個人が特定されない形で集計し、学会発表や学術誌等で公表する予定です。</p> <p>利用又は提供の開始予定日：研究実施許可日</p>
<p>利用し、又は提供する試料・情報の項目</p>	<p>情報：検査データ、診療記録</p>
<p>利益相反について</p>	<p>本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められてるとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。</p>
<p>研究者名</p> <p>【研究責任（代表）者】</p> <p>大阪医科薬科大学病院 総合診療科 医員 城田祥吾</p>	
<p>参加拒否の申し出について</p> <p>ご自身の診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。</p> <p>参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。</p>	
<p>問い合わせ窓口</p>	

【研究機関】

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学病院 総合診療科

担当者 城田祥吾

連絡先 072-683-1221 内線 54156

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学病院
研究責任者 城田 祥吾 殿

研究の名称	日本の単施設大学病院における市中発症 MRSA 菌血症の発生頻度とリスク 因子の検討
-------	---

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名（自署）

※ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）